



さくひんほしゅう こくご
作品募集(国語)

令和3年7月

宇都宮市立岡本西小学校

おうちの人と いっしょに読んで、自分で えらんで ちょうせんしてみましょう。 必要な用紙は、自分で用意しましょう。

☆印のあるコンクールについては、専用の応募用紙があるので、個人懇談の時に必要なものをもらってください。なお、

学校のホームページにも UP してありますので印刷して使ってください。

作品の締切日は、すべて8月26日(木)です。作品は返却しませんので、必要な人はコピーをとってから提出してください。

作文の部

コンクール名	内容・課題	対象学年	応募のきまり(字数など)
★ 手紙作文コンクール	①はがき作文部門 (1)応募者が実際に体験したことや考えが十分に表現された作品。 (2)「こんな手紙をもらったら嬉しい、楽しい」と感じられる作品。 (3)コミュニケーションの価値や楽しさが実感できる作品 (4)手紙の良さを伝えるきっかけとなる作品。 (5)書くことの大切さ、手書きの良さが学べる作品。 ②絵手紙部門 (1)絵とメッセージが調和し、いきいきと表現されている。 (4)絵手紙として創意工夫がある作品。(2)(3)(5)ははがき作文部門と同じ。 ★参加賞あり	全学年	「はがき」もしくは「はがきサイズに切った画用紙」を使用 (大きさ:縦 14.0~15.4cm×横 9.0~10.7cm。重さ:2.0~6.0g。材質:紙)。 ※はがき作文部門の注意事項 ・絵のみがはがきの面積の4割を占める作品は、絵手紙部門に応募する。 ・日本語で手書きされた作品であること。 ※絵手紙部門の注意事項 ・文字が一切なく、絵のみの作品は対象外。 ・絵とメッセージで表現された手書きの作品であること。 <u>専用の応募票に必要事項を記入し、作品の裏面に貼り付ける。</u>
「新聞を読んで」 感想文コンクール	・2020年10月から2021年9月までの新聞記事を読んで、自分の考えや思いをまとめる。 ※新聞は主に栃木県内で取り扱っている日刊一般紙とする(政党や団体の機関紙、各種業界紙、狭いエリアを対象とした地域紙、英字新聞は対象外)。 ※小学校1~3年生の部は、家族の方に新聞記事を読んでもらってもよいです。	全学年	400字詰め原稿用紙使用 1年生から3年生の部→650~800字以内 4年生から6年生の部→800~1000字以内 ※B以上の濃さの鉛筆で、なるべく大きな字で書く。 ※原稿用紙の1行目に「題名」 2行目に「学校名・学年」 3行目に「氏名(ふりがな)」 4行目に掲載日と新聞名を記入し、5行目から本文を書き始める。(これらも課題行数に含める。) ※読んだ記事を、切り抜いて(コピー不可)原稿用紙にはる。 余白に新聞名と掲載日を記入する。
「私とみんてつ」 小学生新聞コンクール	・テーマ①「くらしと鉄道」または②「みらいの鉄道」 ①鉄道や駅について興味や疑問を感じたことなどを題材に、考えたり調べたりしながら新聞形式にまとめる。 ②人々の生活を支える交通手段として、10年後、100年後の鉄道が、どのように進化・発展していくかを自由な発想で新聞に表現する。 ※1,2年生は、絵日記でもよい。 ★参加賞あり	全学年	A3サイズ1枚 ※絵日記はB4用紙または八つ切り画用紙1枚 たて使い(紙面内は、縦書きでも横書きでも可能) ※手書きで未発表のもの。 ※タイトルは、各自でつける。 ※写真、イラスト、絵、漫画などを使っても良いが、オリジナルのものに限る。 ※カラー・モノクロいずれも可。
★ 全国小・中学校 作文コンクール	テーマは自由。 ふだんの生活や学校で感じたこと、体験したこと、創作物、読書感想文など。	全学年	※ホームページから応募登録が必要です。 <u>専用の応募用紙に記入。</u> 400字詰め原稿用紙使用 小学校低学年(1~3年)の部→表紙を除いて10枚以内 小学校高学年(4~6年)の部→表紙を除いて20枚以内 ※自作の未発表のもの ※原稿用紙の右上端一か所をホッチキスでとめる。 ※鉛筆(Bまたは2B)で濃く書く。自筆に限る。
★ ジュニア知事さん作文	「もし私が『知事』になったら、こんなことをしてみたい」「とちぎ」のためにやりたいことを具体的に書く。	4・5・6年	400字詰め原稿用紙使用 1枚以内(厳守) ※表面の余白に題名を書く。題名はテーマの通りとせず、内容がイメージできるようなものを自由につける(「あったらいいな〇〇」、「〇〇が活躍できる栃木県」など)。裏面に題名・学校名・学年・氏名(ふりがな)を書く。
青少年読書感想文 コンクール	・自由読書・課題読書の区分あり	全学年	400字詰め原稿用紙使用 1,2年 本文 800字以内 3~6年 本文1,200字以内 ※題名、校名、氏名は記入しない。 ※本文は1行目から書く。 ※校内審査あり
下野新聞小学生 読書感想文コンクール	・自由図書・課題図書の区分あり	全学年	400字詰め原稿用紙使用 1,2年 800字以内 3~6年 1,200字以内 ※原稿用紙1枚目右端欄外に「題名」「学校名」「学年」「氏名(ふりがな)」を書く。本文は、1行目から書く。 ※B以上の濃さの鉛筆で書く。 ※校内審査あり

<p>「ごはん・お米とわたし」 作文コンクール ★</p>	<p>・毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関する思い出や考えたことなどを素直な気持ちで表現したもの ★参加賞あり</p>	<p>全学年</p>	<p>400字詰め原稿用紙使用 1～3年…2枚以内またはマス目の大きい原稿用紙800字以内 4～6年…3枚以内 ※1枚目の1行目に題名、2行目に学校名・学年・氏名、3行目から、本文(本人の直筆)を書く。<u>専用の応募票に記入し、最後のページの裏に貼り付ける。</u> ※2枚以上のときは開いた状態で右上をホッチキスでとめる。</p>
<p>うつのみやジュニア 芸術祭「ジュニア文芸」 ★</p>	<p>① 詩 …1人1編 ② 短歌…1人2首まで ③ 俳句…1人2句まで ④ 川柳…1人2句まで ※ 課題は自由</p>	<p>全学年</p>	<p>詩…20行以内(用紙1枚)にまとめる。題名を必ず記入する。 短歌…五・七・五・七・七でまとめる。 俳句…五・七・五を基本とし、季語が入っているもの。 川柳…身の回りで感じたことを話し言葉で五・七・五にまとめたもの。 ※複数種目応募可 Bか2Bの鉛筆で濃くはっきりと書く。 ※自作で未発表のもの ※いずれも<u>専用の用紙を使う。</u></p>

書道の部

コンクール名	内容・課題	対象学年	応募のきまり(字数など)																					
<p>下野教育書道展</p>	<p>各学年課題による。 学校名(略称も可)・学年・氏名を筆者が明記すること</p>	<p>全学年</p>	<p>※購入した規定の用紙を使用 ※洗濯すると落ちる墨汁は使わない。 (重ねたときに作品が汚れるため。) ※硬筆の場合、黒色のフェルトペンを使用する。メーカーや太さは問わない。 これ以外(筆ペン、ボールペン、鉛筆など)の使用は失格とする。</p>																					
<p>JA共済 書道コンクール</p>	<table border="0"> <tr> <td>課題</td> <td>条幅の部</td> <td>半紙の部</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>ひかり</td> <td>えみ</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>きずな</td> <td>みらい</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>助けあい</td> <td>まなざし</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>明るい声</td> <td>成長</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>自然の美</td> <td>希望の道</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>価値の創造</td> <td>四季の花</td> </tr> </table>	課題	条幅の部	半紙の部	1年	ひかり	えみ	2年	きずな	みらい	3年	助けあい	まなざし	4年	明るい声	成長	5年	自然の美	希望の道	6年	価値の創造	四季の花	<p>全学年</p>	<p>・用紙 条幅の部(画仙紙半切大) タテ約136cm×ヨコ約35cm 半紙の部(美濃紙は使用不可) タテ約33cm×ヨコ約24cm 表装・裏打ち・押印等はしない。 各学年とも楷書 ・学年と氏名を作品の左側に書く。 (学年)……○年 (氏名)……○○○○○ 1・2年「漢数字」「漢字」「ひらがな」いずれでも可。ただしアラビア数字は使用不可。 3年以上 学年は「漢数字」、氏名も「漢字」で書く ※<u>学校名は書かない。</u>※校内審査有り(1学年1点)</p>
課題	条幅の部	半紙の部																						
1年	ひかり	えみ																						
2年	きずな	みらい																						
3年	助けあい	まなざし																						
4年	明るい声	成長																						
5年	自然の美	希望の道																						
6年	価値の創造	四季の花																						